



U35向け次世代環境リーダー育成プログラム

BEE



Base for Environmental Entrepreneurs

地球を思い難題に挑む、
新しいアクションの実践拠点。

お問い合わせ先
info@bee.etic.or.jp



WWFジャパン
環境・サステナビリティリーダー開発グループ

BEEプログラムの理念

自然環境や社会経済の課題が多角化し、その解決に社会全体での本質的な行動変容が求められる中、国際社会は2030年までにネイチャーポジティブを達成し、2050年にはカーボンニュートラルを実現することを宣言しました。100か国以上で自然や社会のシステム転換に取り組んできたWWFは、その経験を活かした新たな取り組みとしてBEEプログラムをスタートしました。本プログラムでは、第一線で活躍する先駆者や専門家のメンター陣とともに、環境課題解決に取り組む18~35歳のユースに伴走します。

募集事業

BEEでは、様々な立場・アプローチで環境課題に取り組む次世代リーダーを歓迎しています。

これまで、ご自身で事業を立ち上げている方のほかにも、企業/官公庁/NPO・NGO内で事業を立ち上げている方、大学生、研究者の方にも、ご参加いただいています。



研究開発/調査/モニタリング

生態系・自然資本の調査や
保全プロジェクト効果の評価



フィールド保全/管理

現場での生態系や
自然資本の保全と管理



マーケット創出/変容

持続可能な生産や消費の促進や、
新たな市場の創出



政策立案/提言

法律、規制、制度などの
枠組み作り/提案



連携作り

組織・分野横断的な協働の場作り



意識変容・行動変容

教育やイベント、コミュニケーションを
通じた個人や組織の変容

求める人物像

- 多様な主体と連携しながら、特定の自然環境（国内外の地域・種・生態系）の保全インパクト最大化を目指し、活動をしている/活動を目指している方
- 自然環境・環境サステナビリティに関する専門知識を活用し、事業推進をしたい方
- ビジネスを通して、ネイチャーポジティブの実現や持続可能なしくみづくりを目指す方
- グリーンウォッシュを回避し、課題の本質を見極め、既存のシステム全体に影響を与えるようなインパクト創出に取り組む意欲がある方
- 企業内で自然環境分野に関連する新規事業を推進したい、自分自身の可能性を拡張させ企業で活躍したい方

活動

BEEプログラムでは、インプットとアウトプット、両方の機会を提供することで環境保全に関する知識と事業推進のための実践力を身に着けます。

集合セッション (対面)	ゼミ (オンライン)	レクチャー (オンライン)	フィールドワーク (対面)
メンターやゲストなどの関係者が一堂にし、実践の成果と今後の目標をプレゼンし、ネットワーキング。フィードバックやつながりを次のステップへと活かす。	テーマごとに月1回集まり、担当メンター、同期メンバーと自身の事業案を磨く。	WWFの知見や先輩起業家から専門家の取り組みを学習。得られた考察を自身の事業に活かす。	WWFが地域主体の保全活動を支援してきた石垣島・白保地区を訪問。活動に携わる人との対話を通じ、保全事業のヒントを得る。

プログラム全体像

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
対面	キックオフ 8月		中間セッション 10月				ファイナル 2月
オンライン		テーマ別 月例セッション ※原則オンライン					
		メンター・専門家との個別相談、ToC作成サポート (任意)					
集合セッション							
ブラッシュアップセッション							
インプットセッション		ゲストセッション		ToC事例紹介			
フィールドワーク		石垣島FW 9月18日・19日・20日					

受講者の言葉



1期生 太刀川 晴之
株式会社エーゼログループ

岡山県西粟倉村で、生き物と共生する米づくりを通じて自然と地域を豊かにする「バイオんぼプロジェクト」に取り組んでいます。BEEでは、シナリオ作成を通じて田んぼが地域や関係人口において持つ役割を再考し、教育やコミュニティ活性化といった価値を見出せました。環境保全とビジネスの両立に本気で挑む仲間と出会ったことで勇気をもらい、自身の事業を進めていくことへの覚悟も一層固くなりました。目指すビジョンは一社だけでは達成できないので、様々な企業・団体と連携や共創を進めていきたいです。

ToC*作成を通してわたしが本当に守りたいものはなんだろう？それを脅かしているものはなんだろう？という問いに向き合い、「課題構造を整理する」ことの重要性を学びました。

ToCというツールは、地域で様々な立場の方と共通認識を育むためににとっても役立つと思いました。



2期生からの声

*ToC (Theory of Change): 社会の現状を詳細に分析・理解し、事業を通して起こしたい変化や、そのために事業で介入するポイントを図式や文章を使って表現する手法

メンターの言葉



小野 邦彦
株式会社坂ノ途中
代表取締役

創業期にどんな刺激をうけるかということは、起業家にとって決定的に重要です。環境をテーマにそれぞれのフィールドに没入していると、抽象的、長期的な議論をする機会が不足しがちです。BEEは、環境課題に挑戦する起業家の加速装置になりえると思っています。



坂野 晶
一般社団法人ゼロ・
ウェイスト・ジャパン
代表理事

環境という圧倒的に難しい領域で事業をする挑戦は、まさに総力戦。個者/社ではできないことを、パートナーシップやコミュニティとして成し遂げる必要があります。人材育成とネットワーク形成が一番の突破口であり、その起点の1つがBEEだと期待しています。

